

#1 整形外科

演題：手・肘・肩関節外科2017  
 日時：平成29年6月27日（火） 19：30～21：00  
 会場：多摩北部医療センター 2階大会議室  
 演者：多摩北部医療センター整形外科 鈴木 志郎

#2 循環器内科

演題：ご紹介患者様の症例報告  
 日時：平成29年7月26日（水） 19：30～21：00  
 会場：多摩北部医療センター 2階大会議室  
 演者：多摩北部医療センター循環器内科 村崎 理史

お申し込みは、  
 当院の地域医療  
 連携室へご連絡  
 ください。



市民公開講座のお知らせ

『いま増えている膵臓病、膵臓がんについて  
 ～早期発見のため超音波内視鏡検査に期待されること～』  
 多摩北部医療センター 消化器内科部長 柴田 喜明  
 とき 平成29年7月7日（金） 14：00～15：30  
 ところ 東久留米市民プラザホール（東久留米市役所1階）

紹介・予約のご案内

患者さんのご紹介にあたっては「紹介状(診療情報提供書)」と「受診科のご予約」をお願いいたします。また、紹介状には受診科の明記をお願いいたします。初診時に紹介状が無い場合は、診療費の他に選定療養費として1,338円(税込)が加算されます。

予約センター

予約専用電話:042-396-3190・3511

予約受付時間：月～金曜日 9時～19時・土曜日 9時～12時  
 ※お急ぎや受診予約希望や、受診に関してご相談等の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。  
 (受付時間：月～金曜日 9時～17時)

各種検査予約

代表電話番号:042-396-3811

放射線

代表番号より下記へご連絡願います。(受付時間：月～金曜日 9時～17時)  
 CT・一般X線検査：内線 2236 MRI 検査：内線 2600  
 核医学検査：内線 2140 放射線治療：内線 2073・2169

内視鏡

予約センター又は地域医療連携室へご連絡の上、「内視鏡外来(金曜午後)」のご予約をお願いいたします。なお、内視鏡外来は、紹介予約制とさせていただきます。

《お知らせ》

内視鏡室は、2室から**3室に増室**しました。患者様の安全面にも配慮し、より快適にお使いいただけるように改修しています。ご紹介をお待ちしております。



《地域医療連携ニュース「たまほく」に関するお問合せ》  
 地域医療連携室 042-396-3811 内線 2073



血液内科医長 本村 小百合



当院は病床規模に対し、血液内科のスタッフ・病床数が充実しているのが特徴です。血液内科医師7人(常勤の指導医4人と非常勤医師3人)で、外来を毎日、表1のように9コマ行っており、先生方からの急な患者さんや救急の患者さんを受け入れる救急・連携当番医を毎日配置しています。病床数もクリーンルーム7床(個室3室、新設された4人部屋1室)、クリーンベッド5床を含む35床で、病院の10%強の病床を占めています。血液内科としては北多摩北部医療圏で最大規模となります。外来では貧血や血球異常、リンパ節腫脹から白血病まで様々な疾患を診させていただいており、外来での輸血や抗癌剤治療も多く行っています。

表1

	月	火	水	木	金
外来	AM本村	AM堤 PM湊澤	AM堤 PM本村	AM秋山 AM日台	AM村井 AM萩野
救急・ 連携当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医

入院では表2のように2016年度の急性白血病の新規入院患者は25例、悪性リンパ腫約55例、多発性骨髄腫約27例と、多くの造血器腫瘍の患者さんを診療しています。

表2

	人数	入院件数
急性白血病	25	49
慢性白血病	6	9
骨髄異形成症候群	22	91
悪性リンパ腫	55	88
多発性骨髄腫	27	40
他の血液疾患	43	51

また、当院は多職種のチームで面倒みよく患者さんの診療をしているのも特徴です。外来では輸血担当看護師や通院治療室看護師と、病棟では看護師、病棟薬剤師、病棟担当ソーシャルワーカー、必要時は栄養士、感染症対策チーム、緩和ケアチームなどと、患者さんの病状、心理面、社会的側面など多方面から心を込めて治療をさせていただいています。

血液疾患は稀と思われると思いますが、例えば日本の白血病発生率は年々増加傾向にあり人口10万人当たり9.6人(2012年)、年齢とともに増加し70歳代では人口10万人当たり約24人、80歳以上では約31人と、稀な病気というほどではなくなっており、青年層では白血病はもっとも多いがんです。悪性リンパ腫も増加しており人口10万人当たり21人、70歳代では58人、80歳以上では75人で、大腸癌、胃癌、肺癌、膵臓癌、肝臓癌について6番目に多いがんとなっています。地域で発生する血液疾患を、日本の標準的治療で診療していきたいと考えています。もしかして血液の病気かも、と少しでも気になる症例がありましたら、お気軽に血液内科外来にご紹介ください。当日の診察をご希望の場合には地域医療連携室にご連絡ください。

クリーンルーム入口 →



← 血液内科チーム(一列目左から 堤dr、小林看護師長、本村dr、秋山dr、二列目左から DA細川、管理栄養士大島、薬剤師市川、日台dr、萩野dr、別枠上 村井dr、別枠下 湊澤dr)



# 消化器内科および膵臓病外来の ご紹介

消化器内科部長 柴田 喜明



消化器内科では、**肝胆膵悪性腫瘍**に対する診断、治療手技を得意としております。その中でも、難治性がんの代表である膵臓がんをできる限り早期に発見するために、**超音波内視鏡下穿刺吸引生検法 (EUS-FNA)** を積極的に行っており、迅速細胞診により 1cm の膵臓がんを高い精度で診断することができます。膵臓がんの疑いがある患者さまがいらっしゃいましたら、毎週火曜日午後の膵臓病外来にぜひご紹介をお願いします。

また、EUS-FNA を応用した膵仮性嚢胞に対するドレーナージ術などの超音波内視鏡を用いた治療手技も積極的に行っております。

《外来診療日》 平成29年5月現在

	月	火	水	木	金
午前	●	●			●
午後	●	●		●	
専門外来(午後)		膵臓病			内視鏡



↑ EUS-FNAを行っているところ



←膵鉤部 1cm の早期膵臓がんに対して十二指腸からEUS-FNAを行い、診断を確定

このほか、**内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP)** 関連手技として、胆道、膵悪性腫瘍に伴う閉塞性黄疸に対するステント留置術などの内視鏡治療手技を得意としており、平成 28 年度は 301 件の EUS、ERCP 関連検査、治療手技を実施しました。

さらに、肝細胞がんや転移性肝がんに対しては、人工胸水法を用いて、最新のバイポーラ機器による**ラジオ波焼灼療法 (RFA)** を積極的に行っています。

消化器内科では、肝胆膵外科部門を強化する目的で今年新設された消化器外科と密接な連携をとりつつ、**地域の肝胆膵センター**のような形で、肝胆膵疾患、特に肝胆膵悪性腫瘍に対する最新かつ最適な診断、治療技術を提供して参ります。また消化管分野では、早期胃がんに対する**内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)** や、早期大腸がんに対する**粘膜切除術 (EMR)** を積極的に行っており、緊急を要する上下部消化管出血に対する内視鏡的止血術も得意としております。連携医の先生方におかれましては、患者さまのご紹介をよろしくお願い申し上げます。



# 消化器外科のご紹介

消化器外科医長 高橋 豊



**2017年1月より消化器外科を新規に開設**いたしましたが、1-3月は準備期間として所属医師1名で外科の先生の協力のもと診療して参りました。4月からは新規に3名の若手医師が加わり4名体制で消化器外科は活動しています。今まで当院では、主に消化器疾患のなかでも消化管(胃・小腸・大腸など)の手術を中心に外科で行って参りました。新設した消化器外科では、消化器疾患の中でもより専門性の強い肝胆膵領域の疾患にも対応しており、現在までに肝切除3例、膵切除3例を行いました。肝胆膵領域の疾患は多岐にわたり診断に難渋することも多いです。当院では消化器内科が**ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)** を数多く行っており、診断だけでなく治療も行っています。消化器内科と協力することで**幅広く消化器疾患への対応が可能**となっています。診断に難渋するような場合でも消化器内科・外科に紹介頂ければ対応いたします。消化管手術は**腹腔鏡手術を取り入れ**て行い、高難度の手術に関しても対応可能となっています。肝臓・膵臓の腹腔鏡手術は、施設認定の申請が近いうちに可能となりますので、今年中には開始する予定です。待機手術だけでなく、緊急手術も数多く対応しております。4名で診療を行っているため、手術中であっても救急外来への対応が今までより可能になると思われまますので、御連絡頂きたいと思ひます。新体制で診療を開始して2ヶ月余りですが、**消化器疾患で地域医療に貢献**できるよう努めて参りますので宜しく御願ひいたします。



←左から  
巾(はば)医師、河合医師、  
小竹医師、高橋医師(以上消化器外科)、柴田医師、四宮医師、星川医師、染谷医師(以上消化器内科)

《消化器外科・外来予定表》 平成29年5月現在

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM					高橋
PM		高橋	小竹		高橋 河合